

今夜7じより  
 西成市民館3階 集会室  
 (西成署のうら、炊き出し公園前)  
 参加料 100円  
 主催 釜ヶ崎夜間学校

みんなデヅクルみんなノカイカン!  
 お金には1万円にぞろぞろ  
 三角公園にあつまろう!



釜ヶ崎夜間学校  
 西成区西成2丁目1番地  
 釜ヶ崎解放会館2階  
 平日夜 毎週開校

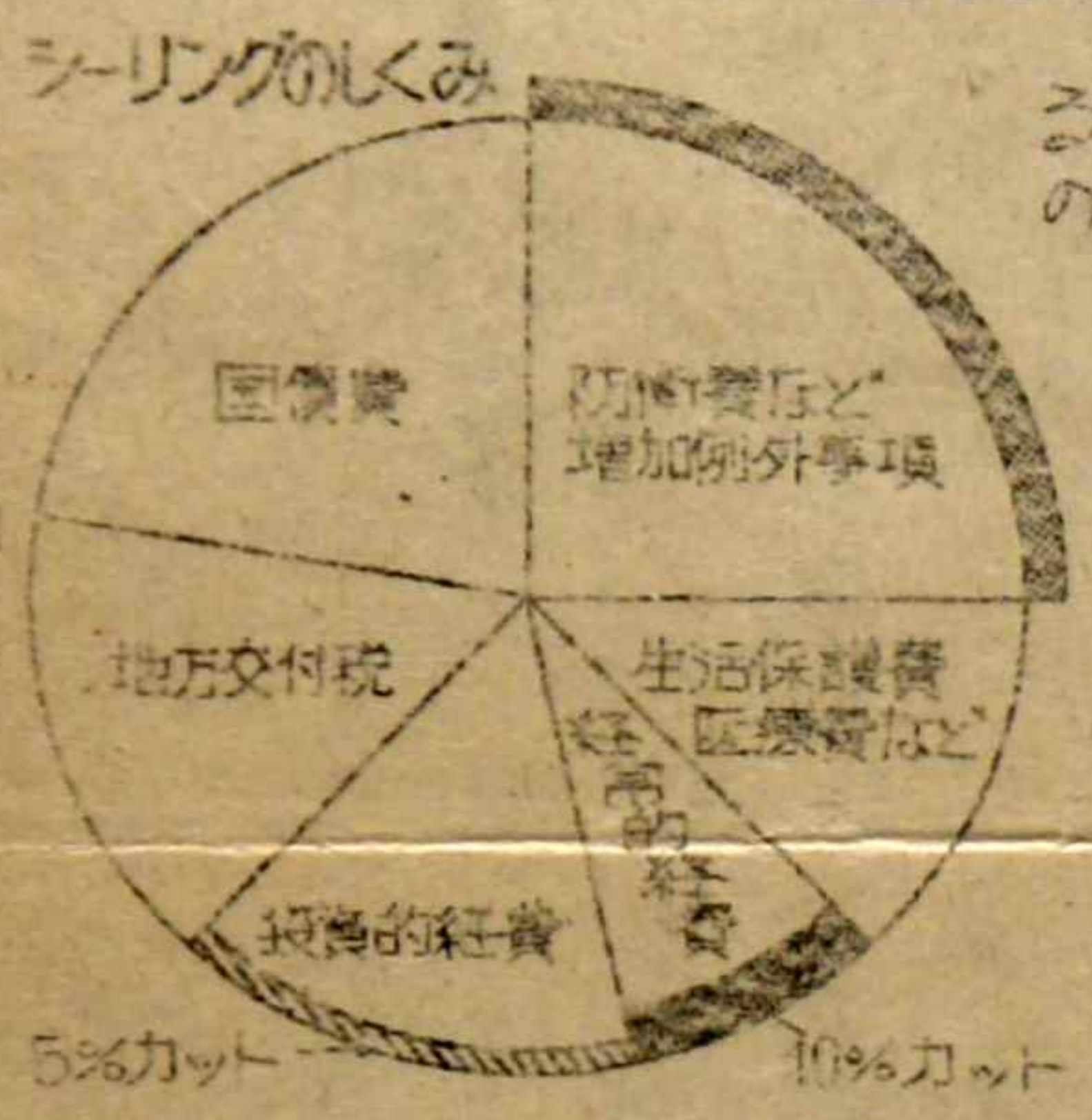
仕事よこせ、釜ヶ崎解放斗争の

みるがりと連帯を求めて

左下の円グラフは、来年度予算の概算要求枠(シーリング)を表わしたものの。これによると、公共投資は二二二三年ゼロ・シーリングでできていたが、いよいよマイナスに転じ、釜ヶ崎の仕事がなくなることは確実のようだ。

それにひきかえ、戦争準備のための、防衛費は、いよいよますます突出が許されてきている。

公共投資は必要がなくなるとい



はずられており、防衛費は必要があつて突出してくるのだろうか。大雨が降るたびに、多くの川があふれ、マンホールから吹きあげて逆流してきているの

は皆も知っていることだろう。そして、多くの民衆が水につかつていることも、それをみるだけでも、現在、公共投資が必要でないとは考えられない。

では、防衛費なるものはどうか、防衛費の多くは、米国の中途を買つたことに、米国の軍事産業をまつけさ

オここに使われている。そして、防衛費が増えれば増えるほど週日誌のキワクを招き、緊張を高めることになる。その上、防衛費からは、何ら生産的なものは生れず、社会の富は増えない。

釜ヶ崎に仕事を増やして、我々が飲まないためにも、防衛費の突出に反対し、生活に必要な公共事業を要求していかねばならぬ。

これは民衆レベルの階層である。いかに釜ヶ崎、下人の口を塞ぎたいとしても、単独で対処なく入ることができない。

まして、今日の釜ヶ崎、争議の仕事よこせ闘争について、全港西成分会との共闘が計られたに、もかがわらざる実現した状態があり、今、一つ、闘争の

みるがりと連帯がなされることになってはならない。斗争は自力自闘、まずそれを欲するものが第一、何をななければならぬのは言ひまでもないが、その上、立つて、多くの人のための共闘も計られなければ、国家

レベルのことにはたちうちできない。今回は、思いやりなく、自立自闘と共闘について語る。

ついて語る。



# 仕事よりいせろ。と

## お登記さんフライバー

夜間学校は先週は、お休すみ。その前の週も集ったのは三名だけで、実質的には休すみのようなものでした。ちよつと早い夏休み。

六月二三日には、仕事よこせ決起集会が三角公園で開かれ、約二百五十名が参加した。

翌二十四日、九十名がセンターから大阪府まで、仕事よこせデモを行なった。

七月七八・九日の三日間は、三十名の仲間が大阪城公園、府庁前遊歩道にへたりこんで、四名の仲間が、釜ヶ崎の歌を代

表して、仕事よこせ、ハンストを行なった。

それらの闘争は釜ヶ崎、争議団を軸に行なわれたが、夜間学校でもそれらの一連の「仕事よこせ闘争」に、積極的な意欲をみいだして、参加して行く方向で話合いが積み重ねられた。

そして、七月十一日、仕事よこせ、が大きな成果もあげていないのに、会館建設、加藤登紀子釜ヶ崎コンサートが開かれた。これにはなんと、仕事よこせ集会に集った仲間の十倍の二千五百から三千人の人が集まった。

デモやハンストに参加した仲間も、仕事よこせ、はどいな

ったんや。とぶつぶつ言っているた。

もつとそんなことだと思おう。仕事よこせ、と加藤登紀子さんの歌を聞きに多くの人が、そしてテレビの取材が来るの、どのような関係があるのか。

釜ヶ崎に仕事がなく、多くの仲間が青カンに、飲えにさらされていている。だからこそ、せつごつな課題として、仕事よこせの連続闘争が取り組まれたのであった。

しかし、三月上旬の仕事が多い時期に、センターを舞台に、人夫出くに五百円の賃上げをせよ、といったときのような、明確な見

通しはなかった。

今回の連続闘争のみで、すぐさま釜に仕事ができる、という状況では残念ながら、なかった。では、何のためのデモでありハンストであり、お登記さんフライバーであったのか。

とにもかくにも、我々の切実な要求を、大阪府に、世間に広く知ってもらったためである。来年以降も、仕事が増えて一年中仕事がある、という見通しはまったくない。今のまま手をこまねいていて、では。

今回の闘争で仕事が出る、ことが最大の獲得目標であったが、それが勝ち得りがたいものであるなら、今冬、来年にむけて、多くの人達と連帯し、多くの仲間が結集して

持続的に運動が進められなければならぬ。そのために、釜ヶ崎に

多くの人の感心を集めなければならぬ。その限りでは、釜ヶ崎に



▲三角公園でうたう加藤登紀子さん。